

# 落語と長唄の世界

## 志の春・佐喜のしましま落語・長唄会

9/1 Sat | 9/2 Sun  
14:00-15:35 (中入り10分)

【場所】 サン・オリーブホール (道の駅オリーブ公園内: 小豆島町西村甲 1941-1)

【開場】 13:30 全席自由席

【内容】 落語 | 立川志の春 長唄 | 杵屋佐喜社中

【料金】 前売券お一人様 3,000円 (映画村入村券付)  
当日 3,500円

※無料送迎バス時間については二十四の瞳映画村 HP でご確認ください。

立川志の輔師匠の三番弟子である立川志の春と長唄の三代目杵屋佐喜による、ジョイント企画が実現します。昼の会は、銘々が、落語と長唄各々の王道芸を披露。年中、冬毛の猫のようにまるまるとした志の春が、舌好調に志の春節を。色白のハンサム王子という言葉が最もふさわしい佐喜は、三味線・お囃子方とともに、佐喜節を朗々と奏でます。

## 落語 × 長唄ミュージカル

9/1 Sat | 9/2 Sun  
18:00-19:30 (中入り10分)

【場所】 二十四の瞳映画村 ギャラリー松竹座映画館

【開場】 17:30 限定75名・全席自由席

【内容】 作・斬 | 立川志の春 音楽 | 杵屋佐喜社中

【料金】 前売券お一人様 3,000円 (映画村入村券付)  
当日 3,500円

※壺井栄文学館・チリリン屋・書肆海風堂のみ営業。BAR「珈琲とブーケ」出店。  
※お宿からの無料送迎バス時間については二十四の瞳映画村 HP でご確認ください。

初挑戦!! 志の春と佐喜による落語と長唄の融合。如何様な化学反応が生まれるのか、やってみないと分かりません。とは申せ、元来、落語と長唄には、時代や作品の共通点が多くあり、前代未聞ですが、決して無謀な企画ではありません。志の春と佐喜が奏でる豊かなハーモニー、ご堪能ください。昼の会とお見比べ戴くのも、おつな味がするかもしれません。

## 七転八倒・下の部 シモ (R12指定)

9/1 Sat  
20:00-21:30 (中入り15分)

【場所】 二十四の瞳映画村 ギャラリー松竹座映画館

【開場】 19:45 限定75名・全席自由席

【内容】 作・斬 | 立川志の春 音楽 | 杵屋佐喜社中

【料金】 前売券お一人様 3,500円 (映画村入村券付)  
当日 3,800円

笑い過ぎでアゴが外れるかも?!  
エロスと怖〜い世界へ誘います!

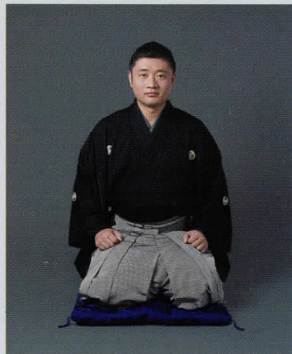


※壺井栄文学館・チリリン屋・書肆海風堂のみ営業。BAR「珈琲とブーケ」出店。  
※お宿からの無料送迎バス時間については二十四の瞳映画村 HP でご確認ください。

### プロフィール

#### 立川志の春

Shinoharu Tatekawa



落語家。立川志の輔の三番弟子。2002年10月入門「志の春」。2011年1月二つ目昇進。1976年8月14日、大阪府豊中市で生まれ、千葉県柏市で育つ。幼少時と学生時代の計7年間を米国で過ごす。米国イェール大学卒業後、三井物産にて3年半勤務。古典落語、新作落語、英語落語を演じる。2013年10月NHK 新人演芸大賞〈落語部門〉本選出場。2013年度「にっかん飛切落語会」奨励賞受賞。新宿角座での月例独演会「志の春落語劇場」のほか、月例志の春独演会 in 柏、落語以外の表現方法も模索する「志の春サーカス」、下ネタ及び艶噺のみ限定の「シモハルの会」、英語オンリーの「Shinoharu English Rakugo」、その他各地にて定例独演会及び日本酒や和菓子など他ジャンルとのコラボ会などを開催中。著書に「誰でも笑える英語落語」(新潮社)など。

長唄・唄方。1983年東京生まれ。父は江戸時代より続く長唄佐門会家元・七代目杵屋佐吉。幼少より祖父・五世杵屋佐吉に三味線、人間国宝・杵屋佐登代に唄の手ほどきを受け、6歳で国立大劇場にて初舞台。玉川大学芸術学科、声楽専攻卒業。第11回アジアクラシック音楽コンサート新人賞受賞。2002年父の前名である佐喜の名を三代目として襲名。現在、長唄の唄方として全国各地の演奏会、歌舞伎公演(坂東玉三郎・市川海老蔵・市川猿之助・中村勘九郎丈ほか)日本舞踊会、NHK「にっぼんの芸能」他テレビ、ラジオに出演。NY・カーネギーホール公演、平成中村座スペイン公演他、海外公演にも多数参加。2014年日本コロムビアより「和風ビートルズメドレー」発売。2017年自身が唄うピコ太郎の国立劇場版PPAP「PNSP」がYouTubeで300万回再生を越え、アメリカのCNNほか国内各メディアに取り上げられるなど大きな話題となった。母方祖父は「七人の侍」などで知られる映画俳優の木村功。

#### 三代目杵屋佐喜

Saki Kineya III



チケット販売	ローソンチケット	Lコード: 61886 <a href="http://l-tike.com/24hitomi/">http://l-tike.com/24hitomi/</a> 【電話予約】0570-000-407 (10:00~20:00 / オペレーター対応)	小豆島内	土庄港観光センター	0879-62-1666
	チケットぴあ	Pコード: 487-114 <a href="http://pia.jp/">http://pia.jp/</a>		オリーブ・ナビ	0879-82-7007
				二十四の瞳映画村	0879-82-2455
					<a href="http://www.24hitomi.or.jp/">http://www.24hitomi.or.jp/</a>

「落語」は1680年代の江戸時代から庶民に愛されてきた大衆芸能です。「長唄」も同じ頃、江戸で歌舞伎舞踊の伴奏音楽として発展した三味線音楽とされています。時代とともに聞き手側の年齢層もネタも広がり、益々面白さが増えています。この度、「落語」と「長唄」の両方聴けるという贅沢を叶える演者が、立川志の春と杵屋佐喜。実力十二分の若手です。瀬戸内小豆島は二十四の瞳映画村から「日本の伝統芸能、新しいモノを形にしたい」という想いでお届けいたします。